

週刊センターニュース No.218



第218号(2008年8月4日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

他大学の大学教育センターにおける若手

- 「若手 FD 研究者ネットワーク」メンバーの活動から -

一昔前に比べると、全国の国公立大学および主要な私立大学に設置されている大学教育センター・教育開発センターには、かなり多くの若手(20代後半から30代後半)が常勤スタッフとして活動している。各センターで中軸をしめられる40代から50代のスタッフの学問的バックグラウンドは、非常に幅広い専攻分野で構成されるが、若手については、教育学系、(教育)心理学系、教育工学系の大きく3タイプにほぼ分類(収斂)されるのが特徴といえる。センターないしFDに関わるようになった経緯(キャリア)は、多少異なるものの、博士課程を修了する(博士号を取得する)前後に、現に所属している大学はかつて在学していた大学の関連センターに何らかの形で、例えば公開授業・授業研究や教材作成、特色GP・現代GPといったGPプログラムの学生補助スタッフといった形ですに関わりを持つ者もかなり多い(その意味では、かなり自然にこの業界に入り込んでいるといえる)。

若手が日々携わる業務内容は、実に多様な領域にわたっている。FDプログラム(授業技法ワークショップ)の企画・実施からはじまり、授業評価(質問項目作成と集計・分析)、共通教育・教養教育のカリキュラム開発(改訂)、初年次教育プログラムの策定、eラーニングシステムの開発・効果測定、授業用のブログシステムやコンテンツ開発、教育改善啓発を目的とする学内報の作成、GP申請書類の作成、驚くべきは副センター長として、20以上の全学委員として獅子奮闘の活躍を見せる方もおられる。(続く)

「若手 FD 研究者ネットワーク」は、京都大学高等教育研究開発推進センターを事務局に、全国の国公立大学の大学教育センター等に所属する24名を初期メンバーに、今年7月に結成されました(7月19.20日に第1回会合開催)。(文責: 評価システム研究部門 渡辺 達雄)

「新入生対象 学習状況および受験等に関するアンケート」集計結果分析

およびそれに基づく提言 - その2 -

当センターが実施しました標記アンケート(実施時期5月15日~30日)結果より、今回は、本学の学生募集活動に関するもののうち、とりわけ、オープンキャンパスを中心に紹介します。

設問31「あなたが進学先を検討している段階で、本学の広報活動等について、実際に見たり参加したりしたかどうか、当てはまる方を選択して下さい。」

<u>オープンキャンパス</u>	参加した	304名	参加しなかった	495名
<u>大学見学会</u>	参加した	130名	参加しなかった	667名
大学ホームページ	見た	610名	見なかった	177名
大学案内のパンフレット	見た	674名	見なかった	112名
学域のパンフレット	見た	554名	見なかった	232名
学類のパンフレット	見た	526名	見なかった	260名
<u>携帯メールマガジン</u>	見た	106名	見なかった	679名

設問76「本学のオープンキャンパスに参加した目的として、当てはまるもの全て選択して下さい。」

1. <u>自分の志望する内容が金沢大学で学べるか知りたかった</u>	115名
2. 金沢大学の入試の詳細について知りたかった	74名
3. <u>金沢大学の授業や施設見学等を体験したかった</u>	160名
4. 金沢大学で個別に相談したいことがあった	3名

5. 出身高校から近隣大学のオープンキャンパスに参加するように勧められた 73名
 設問79「本学のオープンキャンパスについて、役立ったものについて、当てはまるもの全て選択して下さい。」

1. 学域・学類等説明	142名
2. 入試説明	102名
3. 模擬講義	65名
4. 体験実習	31名
5. 研究室見学	55名
6. 教員による個別相談	13名
7. 在学生との個別相談または懇談会	12名
8. 留学説明会	2名
9. サークル練習・発表会等の見学（サークル見学）	5名
10. キャンパス自由見学	50名
11. 過去問配付	26名

設問81「本学のオープンキャンパスに参加しましたか。参加した方のみ、参加した時期を全て選択して下さい。」

1. 高校入学前	1名
2. <u>高校1年生・夏休み</u>	<u>50名</u>
3. <u>高校2年生・夏休み</u>	<u>117名</u>
4. <u>高校3年生・夏休み</u>	<u>146名</u>
5. 高校卒業後	4名

本学は、中期計画に「アドミッション・ポリシーに応じた効果的な学生募集を展開する」と、今年度の年度計画には「アドミッション・ポリシーに応じた効果的な学生募集をオープンキャンパス、出前授業、高大連携講座等を通じて展開する」と記しています。上記アンケートからは、昨年度初めて実施した、携帯メールマガジンも一定の効果を上げており、また、高校1年のときのオープンキャンパスに来てくれた生徒が実際に入学していることから、長いスパンでの学生募集が重要であることが分かります。

ちなみに、各部局においても、例えば、昨年度のオープンキャンパスについて、<終了後に行ったアンケート結果では、大多数の高校生が見学した学類に対する興味が深まったとする回答をしており、「参加した学類を受験しようと思いますか？」との問いに対しては、7割を超える学生が「思う」「検討する」という非常にうれしい結果となった>（工学部広報「秀峯10号」（2007年9月号））など、の報告が既になされています。

今週7日・8日に開催されるオープンキャンパスを前に、オープンキャンパスを中心に本学の教育を高校生等知ってもらう試みを、今後とも精力的に実施すべきであることを、提言します。

（文責：教育支援システム研究部門 青野 透）

平成20年度大学コンソーシアム石川FD研修会

（大学コンソーシアム石川 主催）のご案内

日時：平成20年8月30日（土） 13：00～17：50

会場：石川県広坂庁舎1号館（大学コンソーシアム石川，ジョブカフェ石川）
 石川四高記念文化交流館

テーマ：「高等教育機関のFD義務化にあたって」

プログラム 第1部 13：10～14：35 基調講演

「FDと大学等の地域連携」田中每実（京都大学高等教育研究開発推進センター長，教授）

第2部 15：00～16：50 分科会

第1分科会「大学等の認証評価について」、第2分科会「教職協働 - SDの必要性 - 」

第3分科会「学生相談について」、第4分科会「障害のある学生への学習支援について」、

第5分科会「短期大学のFD活動」

【お問合せ先】大学コンソーシアム石川事務局 担当 請田

TEL 076-223-1633, FAX 076-223-1644, E-mail info@ucon-i.jp